

01 類

0106. 14 1. うさぎ (rabbits and hares)

うさぎ (rabbits and hares) はうさぎ目の2科 (ウサギ科、ナキウサギ科) のうち、ウサギ科に属する。一般に売られているうさぎは、毛皮用、食肉用、実験用、愛玩用等の品種を含め、全てウサギ科カイウサギ属のアノウサギを家畜化したものである。上顎の大きな一対の門歯の奥に、第二門歯を持つ点が齧歯類と異なる。愛玩用にはヒマラヤン、イングリッシュ、ダッチ、ポーリッシュ種及びその改良種がある。



種類	ネザーランド・ドワーフ種 (ピーターラビット)	アンゴラ種	日本白色種
原産地	オランダ	トルコ	日本
体長	25cm	30cm	40cm
体重	1 ~ 1.5kg	1.8 ~ 3.5kg	4 ~ 5kg
毛色	褐色又は薄いグレー 目は黒	黒、赤、 褐色、グレーなど	白、目は赤

0106. 19 1. フェレット

イタチ科、ケナガイタチ属で野生のイタチを馴化したものといわれている。頭は比較的小さく、目がくりくりしている。耳は大きくない。首と胴が長いのが特徴で、毛はしなやか、体の動きは柔軟である。雌の体重は650 ~ 1.1kg、雄の体重は1.2 ~ 2.0kg、体長は平均30 ~ 40cm、尾の長さは10 ~ 15cmで柔らかい毛に覆われている。

フェレットの毛色

フェレットにはセーブル、バタースコッチ、シルバーミット、ホワイトファー・ブラックアイ、アルビノの5つの代表的毛色がある。セーブルは最もフェレットらしく、暗い茶色の毛色で顔に限取りがある。表情が可愛く日本ではこの種類がよく売られている。バタースコッチは柔らかいうす茶色の毛色が特徴。アルビノは全身が白く、目が赤い。シルバーミットは手足の先が白く、全身がグレーで胸元の毛は白い。ホワイトファー・ブラックアイは全身が白く、目が黒い。



0106.20 1. 爬虫類

爬虫類の体表は角質化した鱗でおおわれ、鳥類やほ乳類にある羽毛や毛は生えていない。薄くて裸のままの両生類の皮膚に比べ水分を通しにくく、乾燥に耐えられるので、より陸上生活に適応している。ヘビや一部のトカゲの仲間のように例外はあるが、基本的には四肢はよく発達しており、普通四肢には5本の指があり、先端には爪を備えている。現生の爬虫類は約6,500種が知られ、それぞれの特徴により、わに目、かめ目、有鱗目、かい頭目（ムカシトカゲ類）に分けられる。

0106.20 2. かめ目

かめ類は、鱗の他に丈夫な甲羅が発達している。熱帯から温帯にかけ約240種が分布。かめの甲羅は背中側に背甲、腹側に腹甲があり、両脇が甲橋でつながっており前後の開いた箱状をしている。前方からは頭と前肢、後方からは尾と後肢が出ている。現生のかめ類は歯がなく、上、下顎ともに鳥のくちばしのように角質で覆われている。

かめ類は大きく分けて、潜頸類と曲頸類に分けられ、前者は、頭を甲羅の中に前を向いた状態のまま潜り込ませる。後者は、長い頸を持った種類が多く、頸を引っ込める際には頸を水平に曲げ、背甲と腹甲の隙間に折り曲げるようにしてはめ込まれる。

(潜頸類)



(曲頸類)



アカウミガメ



アルダブラゾウガメ